

平成 30 年 6 月 1 日

嬉野市議会
議長 田中 政司 様

総務企画常任委員会
委員長 山口 忠孝

総務企画常任委員会報告書

平成 30 年 3 月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第 107 条の規定により報告する。

付託事件名

「公有財産等の現地調査について」

調査の理由

所管の公有財産の現状及び市内 4 か所のコミュニティセンター、産業遺産でもある観光施設の実態を把握するために現地調査を行った。

調査の概要

平成 30 年 4 月 23 日、市内にある各施設や公有財産の現状を各担当課の職員から説明を受けながら視察調査した。

○社会体育館

老朽化と雨漏りで体育館としての機能が無くなり、平成 28 年 7 月から普通財産となり、現在はあったかまつりに使用する大きなランタンの保管場所として利用されているが、平成 35 年度には取り壊すことが決定している。

○山中住宅(宅地)206 m²

元嬉野保育所の職員駐車場の土地で、平成 28 年 11 月に一般競争入札の公募を市報等で行っているが、応募がなく隣接する住民にも売却を試みるが、売却に至っていない。

○第 8 区画 6 街区 6 区画(宅地)107 m²

区画整理の保留地であるが、平成 29 年 2 月に公募をかけたが売却には至っていない。新幹線開業時頃には資産価値も上がると見込まれるので、その時に

売却を図れば有効な処分が見込めるのではないかとと思われる。

○一本黒木 入江川圃場整備残地(雑種地、3553 m²)

入江川の下流地にあり、大雨時には冠水する場所であり、有効利用や売却等も望めないが、資材置き場や災害時の廃棄物仮置き場等の活用が考えられる。

○轟・大野原地区地域コミュニティセンター

これまで、民間の施設を借用して運営されていたが、市が土地建物を購入して同じ場所にセンターを新築された。多目的会議室や調理実習室が完備されこれからの活動に期待されるどころだ。

○久間地区地域コミュニティセンター

授産場跡地に新たに建設されたセンターは地域防災の拠点としても活用でき、地域の重要な役割を果たしていくことが期待される。

○大草野地区地域コミュニティセンター

○塩田地区地域コミュニティセンター

新築のコミュニティセンターと比較するために2つのセンターを視察した。もともと農業研修センターであるが、地域の活動拠点として整備し活用されてきている。

○志田焼の里博物館

観光施設(産業遺産)として、指定管理で維持運営がなされているが、老朽箇所が計画的にこれまでなされてきた。しかし、急を要する修理も発生しており、これからもさらに修理箇所が増え続ける見込みで、危惧される。

○吉田地区工業団地予定地(7.1ha、農地 6.5ha、地権者 30 数名)

農地としても優良地であり、現在のところ現状維持になっている。

○塩田地区工業団地予定地(6.9ha 農地 4.3ha、地権者 30 数名)

なだらかな高低差がある地域で、造成するにも多額の費用が見込まれる。

委員会の意見

今回、委員会では一部の市有財産や施設の現状を調査しただけであるが、課題は多く見られた。有効利用をはかるためには、処分や活用を考えなければな

らないのだが、現在の経済状況や市の財政状況を考慮するなら、なかなか思うように事を進めることが難しいように感じられた。しかしながら、これからの市政の将来を考えていくなれば避けて通れない課題であり、維持管理費の財政負担を減らし、財源確保をはかるためには、処分可能な物件は積極的に売却していく必要があると考える。